

28年11月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年 11月1日～ 28年11月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
11月分の回答企業数は40社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/11月	12月	29/1月
仕入動向	国産材	8.3	△ 15.0	△ 8.9
	外材	16.2	△ 10.8	△ 11.4
販売動向	国産材	15.0	△ 5.0	△ 21.4
	外材	13.9	△ 2.8	△ 14.7
在庫動向	国産材	△ 1.7	△ 10.0	△ 7.1
	外材	1.4	△ 4.3	△ 3.0

・国産材及び外材の製材品の仕入れは、11月の増加が、12月、1月は共に減少。

・国産材及び外材の製材品の販売は、11月の増加が、12月、1月は共に減少。

・国産材製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。外材は11月の微増が、12月、1月は減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/11月	12月	29/1月
スギ正角(グリーン)	△ 4.2	△ 4.2	△ 4.5
スギ正角(KD)	6.0	2.0	△ 2.2
ヒノキ正角	0.0	0.0	△ 2.1
ヒノキ土台角	0.0	△ 1.9	△ 4.2
米ツガ正角(現地挽)	△ 6.5	△ 2.2	0.0
米ツガ防腐土台角	4.8	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	4.3	0.0	0.0
米マツ平角	4.3	4.3	2.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	8.3	6.3	2.3
ホワイトウッド集成管柱	13.0	6.5	4.8
レッドウッド集成平角	7.1	7.1	5.0
型枠合板(輸入)	△ 2.4	11.9	10.5
針葉樹構造用合板	40.0	32.5	25.0
針葉樹構造用合板(厚物)	42.5	30.0	25.0

・スギ正角(グリーン)はやや弱含みで推移。スギ正角(KD)はやや強保合が1月はやや弱保合い。ヒノキ正角及び土台角は保合から、やや弱含みに。

・米ツガ正角(現地挽)はやや弱含みから保合に。米ツガ防腐土台角、割物(現地挽)は11月のやや強保合が12月、1月は横ばいに。

・米マツ平角及び北洋アカマツタルキ(現地挽)はやや強含み。

・WW集成材管柱及びRW集成平角はやや強含みで推移。

・型枠用合板(輸入)は、11月の弱保合いが、12月、1月はやや強含みに。針葉樹構造用合板は、品薄気味で強含みで推移。